

穂 学

平成29年度

広州日本人学校学校便り

[No. 3]

平成29年6月1日(木)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

戮力協心 ～力を尽くして戦った運動会～

校長 丸本 互

今年の運動会は「戮力協心（りくりよくきょうしん）～力を尽くして戦え」のテーマのもと、中学部と小学部が一体となり、とても温かい雰囲気をかもしだす、素晴らしい運動会になりました。徒競走や団体競技におけるみんなの一生懸命な姿も、本当に輝いていました。運動会の閉会式の中で、各学年の演技について下記のように感想を話しました。



『小学部1・2年生の「何でも TRY TRY やってみよう!」は、小学校に入学してまだ2ヶ月とは思えないくらい上手にかわいらしく演じる1年生と、2回目の運動会ということで、落ち着いて自信満々に踊っている2年生の姿が大変印象的でした。

小学部3・4年生の「広州ロックソーラン2017 響魂（きょうこん）」は、太鼓のリズムに乗り、鳴子を響かせ、力強く演じている姿がとても勇気を与えてくれました。一人ひとりの力強さが十分に伝わってきて、見ている人たちに勇気を与えてくれる演技でした。

小学部5・6年生の演技「スタッツ」は、柔らかい動きと力強さを組み合わせた工夫した演技となっていました。5年生にとっても6年生にとっても、一緒に演技することで、思い出に残るものとなったのではないのでしょうか。

中学部の「騎虎之勢（きこのいきおい）～止まることなく、突き進め」は、中学部69名の心が一つになったカンフーでした。上下黒の衣装や、剣・扇・棒それぞれのパートの糸乱れぬ演技、そして真剣な表情の中に、広州日本人学校は自分たちが引っ張っているんだという強い自覚が感じられる素晴らしい演技でした。

また、自分に与えられた係の仕事や応援団の活動に大変前向きに取り組んでいる人たちの姿も至る所で見られ、広州日本人学校の運動会を成功させようという意気込みを感じました。みんなの力が集うと言うことは本当に素晴らしいことですね。開会式で話した二つのことが達成できた運動会になりました。』

運動会が終わり、小学部6年生は西安修学旅行に向けて準備が始まっています。一つ一つの行事や活動を通して、着実に成長している広州日本人学校の児童生徒たち。今後のいろいろな場所で「戮力協心」力を尽くして頑張る姿を見るのが今からとても楽しみです。

平成29年度 第23回 広州日本人学校運動会

